

## 第 199 回 日本知能情報ファジィ学会理事会議事録

日時：2014 年 5 月 31 日（土） 13:00～20:30

場所：大阪工業大学うめきたナレッジセンター（〒530-0011 大阪市北区大深町 3 番 1 号）

（グランフロント大阪 北館 ナレッジキャピタル タワーC 9 階 セミナー室 1）

出席者：馬野（会長）、林（副会長）、中嶋（副会長）、乾口（将来構想）、井上（会計）、

工藤（大会事業）、関（広報）、徳丸（事業）、前田（庶務、会誌）、

安信（会計監事）、和多田（事業監事）

欠席者：秋山（賞選考）、佐藤（他学会連携）、星野（電子化検討）、三河（オブザーバ：編集委員長）

### 1. 前回議事録の承認（資料 199-0）

第 198 回理事会の議事録の確認を行い、承認された。

### 2. 理事会メーリングリスト報告済事項の確認

理事会メーリングリストで既に報告されている以下の事項の確認および報告がなされた。

(1) 総会資料の学会ホームページ掲載について（関）（資料 199-1）

・関理事より、6 月 2 日（月）から総会資料を学会ホームページ上で公開しなければならないので、6 月 1 日の 22 時までには総会資料を理事会サーバにアップしておいてほしい旨の連絡があった。

(2) 日本学術振興会育志賞の推薦について（前田）（資料 199-2）

・前田理事より、事務局から学会メーリングリストにも表記の推薦依頼の連絡を行っていただいたが、今回は推薦希望の学生もいなかったため、学会としては推薦なしで回答することが報告された。

(3) 評議員について（林）（資料 199-3）

・林副会長より、退会した評議員を事務局が辞退と勘違いしていたため 1 名追加、さらに H25 年度事業計画から漏れていた評議員を 3 名追加したことが報告された。

(4) FSS2015&JNNS 全国大会について（徳丸）（資料 199-4）

・徳丸理事より、FSS2015 を関東支部に依頼したことが報告された。この結果、関東支部から承諾の回答をいただいたことと、日本神経回路学会との合同開催が可能であることも併せて報告された。

(5) 理事会だよりについて（馬野）（資料 199-5）

・馬野会長より、学会誌 6 月号からシリーズ掲載予定の「理事会だより」について現状報告があった。内容は、毎回、一つのトピックスをメインに出して、あとは理事の横顔を数名掲載していくという形式を取り、少なくとも今期の理事会が終了するまで続ける予定であるとの説明があった。

### 3. 理事会メーリングリスト審議済事項の確認

理事会メーリングリストで既に審議されている以下の事項の確認と審議がなされた。

(1) 理事会懸案事項と総会対策について（林）（資料 199-6）

・林副会長より、理事会懸案事項の説明と、来週の総会に向けて各担当者に資料を用意しておいてほしいとの依頼があった。

・今回の理事会に先立ち、数名の理事で、会員減少阻止対策、SNS の継続・廃止検討、学会法人化検討、会計健全化対策、などの総会対策の検討を行ったことも報告された。

・乾口理事から、支部・研究会組織の見直しについては、学会アンケートにより、支部は現状どおり 32 名、研究部会と区別すべき 49 名との結果であったことが報告された。この結果を受けて今後組織の見直しを検討する必要があるが、今回の総会では現状どおりとすることが確認された。

(2) 除名・再入会手続きと会員減少阻止対策について（井上、林）（資料 199-7）

- ・井上理事より、会費滞納者12名、脱会処理未完了者13名に対し、除名手続きを行ったことが報告された。資料199-7-6を見ると、定年退職で学会整理をされる方がかなり多いとの説明もあった。
- ・退職者の退会に歯止めがかからない問題について、来年度の会費請求をするときにはシニア会員やシルバー会員などの特別な会員設定や一括支払いによる終身会員など、特別会員以外の新たな優遇措置を検討してはどうかとの意見が出された。
- ・まずは、今後、入会・退会者が生じたときに必ず理事会を通すように事務局に依頼することになった。その際にできる限り会員を継続してもらうための優遇措置（特別会員など）を学会から案内する方向で対応することが確認された。
- ・井上理事から、学会費の2年間滞納者の3名の取り扱いについて事務局より対応の問い合わせがあったことが報告された。3名ともできる限り除名は避ける方向で合意された。
- ・林副会長から、本学会の会員減少傾向の説明と他学会（電気・情報関連学会連絡協議会、電気学会、土木学会、情報処理学会）の会員減少阻止対策について簡単に紹介があり、会員減少施策でできることを今後当学会でも至急検討していく必要があることが指摘され、了承された。
- ・この問題に対応するため、理事会内部に会員サービス向上WG（井上理事、秋山理事、他。その他の人選は井上理事が行う）を発足させることになった。検討内容は、シルバー会員制度、コンクールによる学生への表彰、若手研究者への奨励、入会キャンペーン、学生会員のつなぎ止め方策、など。

#### (3) 公開用アンケート集計資料について（乾口）（資料199-8）

- ・乾口理事より、学会員へのアンケート集計結果について報告があり、集計結果は総会に先立ち学会ホームページで公開してはどうかとの意見が出された。これについては、学会員以外には非公開にすべき内容も含まれているので、総会の際に当日配布し、後日、学会ホームページにパスワードをかけたPDFファイルをアップすることになった。
- ・上記のパスワードは学会誌6月号に同封して会員だけが閲覧できるよう配慮することに決まった。パスワード設定および事務局への連絡については関理事が担当することになった。

#### (4) 総会の成立要件と採決方法について（前田）（資料199-9）

- ・前田理事が九州支部からの質問を事務局経由で受けたことに端を発して、理事会メーリングリストにて総会の採決方法について検討した結果を基に成立要件と採決方法に関する提案がなされた。
- ・総会の定足数は特になく、出席者数の過半数で議事が採決されることが再度確認された。この際の出席者には会長（議長）以外の理事も含むことが確認された。尚、会場の出席者数には、委任状を提出した会員の代理人もカウントする。
- ・総会の議事の採決方法については、正確な過半数結果を数値で残すため、例年通りの拍手ではなく、挙手で行うことになった。但し、賛否の個人が特定できる挙手による採決に動議が出た場合には、無記名投票で採決を行うことになった。投票用紙は庶務理事が準備する。
- ・上記の総会の採決方法については、このままで理事会内規とすることが決まった。

#### (5) 理事会の定足数と委任状について（前田）（資料199-10）

- ・前田理事より、総会の成立要件と併せて、理事会の定足数と委任状についても理事会メーリングリストで議論されたことが報告され、今期理事会に関しては12名の理事（監事を除く）の2/3の8名の出席をもって定足数とすることが確認された。これに基づき、今期理事会のこれまでの会議の定足数を確認したところ、すべて定足数をクリアしていることも前田理事から報告があった。
- ・理事会の定足数については、会議の最初の出席者をもってカウントすることになった。定足数に充たない場合、遅刻者がいたときにはまず報告事項を行い、到着を待ってから審議事項を始めることになった。その後の議題途中で退席については定足数のカウントはしないことも承認された。

#### (6) 横幹連合の常置委員会委員募集について（前田）（資料199-11）

- ・前田理事より、事務局経由で横幹連合から表記の依頼があったことが報告され、学会員から適切な委員の推薦を行ってほしいとの依頼があった。審議の結果、今回は推薦なしとすることになった。

(7) SOFT CR 契約書の見積もりとメディアの提供について (関) (資料 199-12 : 当日配布)

- ・ 関理事より、SOFT CR の利用規約作成に関して小島法律事務所に弁護士報酬見積りを取り、約 20 万円以下で収まる事が報告された。今回の見積りはそれほど多額ではないため、相見積りは不要であることも確認された。
- ・ 徳丸理事から、大きなサイズのソフトや映像は置けるのかとの質問があり、サイズの大きなファイルの場合、You-Tube の利用や本人の研究室にリンクを張るなどの方法を取ってもらうことになった。PowerPoint 資料についてはスライドシェアなどを利用する方法もあるとの意見が出された。
- ・ 関理事より、SOFT CR の正式サービスの案内は 9 月の FSS 懇親会でアナウンスする予定であることが紹介された。各理事のメディアは順調に集まっていることや、現在学会ホームページにあるソフトウェア公開ツールも開発者の承認を得て順次 SOFT CR に移行させることも報告された。
- ・ 総会の最後にも、簡単に SOFT CR について関理事からアナウンスすることになった。

(8) SCIS&ISIS2014 開催準備に関わる電気通信普及財団助成金応募について (工藤) (資料 199-13)

- ・ 工藤理事より、SCIS&ISIS2014 のための補助金確保の目的で、電気通信普及財団助成金応募に応募する予定であることが報告された。この応募には学会の推薦状が必要で、理事会当日 (本日) が締め切りであるが、推薦状だけは後日送付で良いとのこと。
- ・ 本推薦状は原案を工藤理事が用意して、馬野会長が作成するになった。また、この際の参考にするため学会事務局に過去の推薦状がないかどうか聞いてみることになった。林副会長から神戸の SCIS&ISIS2012 の担当者である亀井先生か三好先生に聞いてみてはどうかとのコメントがあった。

(9) 投稿原稿の書き方の改訂について (三河) (資料 199-20)

- ・ 三河編集委員長より、第 193 回理事会議事録 3(8)に基づき、投稿規程 (投稿原稿の書き方) について改訂を行いたいとの申し出があった。主な変更点はダブルブラインド査読と多重投稿禁止の文言追加と、掲載料の滞納者には支払いが完了するまで新たな投稿原稿を受け付けない旨の記載の追加。
- ・ 安信監事より、最近の傾向として、博士学位論文 (ネット上でオープン) は多重投稿に当たらないことを明記すべきであるとの意見が出された。
- ・ 今回の投稿規程の改訂は、原案の提示、理事会での審議、編集委員会での報告などを行っている、総会 (6 月) までには間に合わない、臨時総会 (9 月) に見送ることになった。投稿規程の変更は今回理事会で出された意見を反映して文言を修正し、後日チェックを行い、理事会で承認された規程について編集委員会でも報告することになった。また投稿料の見直しについても、今後の論文投稿の活性化も含めて編集委員会で議論を行うよう指示があった。

(10) 学会組織図について (徳丸) (資料 199-14)

- ・ 徳丸理事より今回配布資料として提出された新組織図はこのままで承認された。
- ・ 但し、理事等推薦委員会、モニター委員会に関する規程変更は 9 月の臨時総会にて行われる予定であるので、それまでは旧組織図を使用すべきであるとの指摘がなされた。

(11) 事業報告・計画について (徳丸) (資料 199-15)

- ・ 徳丸理事より、H25 年度事業報告と H26 年度事業計画に対して、退会者や所属の異動などのチェックを全研究グループに依頼したが、一部を除き 7~8 割の研究グループからは変更箇所なしという回答があったが、その後見つかった修正を加えたものが報告された。
- ・ 今回まとめられた事業報告と事業計画について、理事全員で時間を割いてチェックを行った。その結果、文言の修正がいくつか見つかったのでこれを修正したものを最終版として学会ホームページにアップすることになった。

(12) 予算報告・計画について (井上) (資料 199-16 : 当日配布)

- ・ まず初めに井上理事から、貸借対照表について報告があった。貸借対照表の未収金については、3 月末日現在の会費未入金と投稿料の未払いが主であり、会費未入金額は過去の回収率より、実際の額の 25%程度で計算している。

- ・次に、井上理事より収支計算書(案)についての提案があった。これに関して以下の説明があった。
    - 会員減に伴って、会費収入が予定より約30万円少なくなったこと。
    - FSS2013は事業収入が30万円増であり、支出が約130万円減であったため、予算以上の収益が出たこと。
    - 会誌関係では、論文投稿費関係の収入が予算より350万円少なかったが、会誌発行関係費用も300万円程度少なかったため、収支が均衡した状態となった。
    - 学会電子システム維持費に前期理事会の弁護士料の28万円が入っていること。(これについてのコメントを収支計算書に追記することになった。)
    - 理事会費が、予算80万円が決算130万円になったこと。(この原因としては、H24年度末に行われた前期理事会の会議費も入っていること、前期理事会よりも遠方の理事が多いこと、予定よりも1.5倍多い回数で理事会を開催したこと、などがあげられる。)
  - ・次に、井上理事より学会予算についての提案があった。これに関して以下の説明があった。
    - 収入については現状維持の予算案であり、今年度のSCISは約400万円の収益を想定していること。
    - その他の事業支出(30万円)は、将来構想フォーラム代として計上していること。(これについては参加人数が問題となる)
    - 理事会費は80万円を想定していること。(これについては昨年度の実績から支出を100万円で計上しておくことになった。)
  - ・消費税については、会員の参加費等は非課税であり、非会員の参加費等が消費税の対象であることが井上理事より説明があった。非会員の参加費の他、外部に販売した書籍や広告料などが課税の対象となっている。25年度はSCIS&ISIS2012の非会員参加者が多かったため、消費税の納付額が多くなった。
  - ・支部交付金リスト(暫定版)については特に意見もなく承認された。
- (13) 監査報告について(安信、和多田)(資料199-17)
- ・事業監査、会計監査について和多田事業監事と安信会計監事より特に問題がないことが報告された。
  - ・監査報告書は前田庶務理事が預かり、スキャナにより電子化して徳丸理事に送ったものを総会で説明用スライドに用い、本紙を学会事務局に送付して保管していただくことになった。
- (14) 総会の実施要領について(前田)(資料199-18)
- ・前田理事より、総会の実施要領について、会場設営、立哨誘導員、役割分担、議事次第、当日のスケジュールについての詳細連絡があった。立哨誘導員は、学生アルバイト(関研究室)で対応していただくことになった。3.5時間+交通費でアルバイト代を支給し、弁当も用意することになった。
- (15) 評議会の議事次第について(林)(資料199-19)
- ・林副会長より、評議会の議事次第(予定)について説明があった。理事等選出規程については馬野会長が総会の最後に臨時総会にて採決する予定であることが説明されるが、本件が今回の総会で議決できないため評議会議長選出を臨時総会以降に行う必要があることが指摘された。
  - ・このため、理事等選出規程の大まかな修正を会長が行い、総会(6月)までに理事会メンバーリスト等で議論をし、その内容を総会であらかじめ概略説明することになった。総会後の理事会において理事等選出規程の議を経て、臨時総会(9月)で採決を採り、直後に臨時評議会を開いてその場で評議会議長を選出するという手順で進めることが確認された。

#### 4. 次回理事会について

次回理事会は、総会前に開催予定。総会の予行演習と最終確認。総会終了後に懇親会の予定。

日時：2014年6月7日(土) 10:00～

場所：大阪工業大学うめきたナレッジセンター セミナー室1・2